

裏面白紙

国際電気通信連合無線通信主管庁会議日本政府
代表等任命について

外務省

(電波研究所所長) 郵政技官 西崎太郎

(在ジュネーブ国際機関日本
政府代表部 参事官) 外務事務官 佐藤正二

(日本放送協会国際局嘱託) 野村義男

(国際電信電話株式会社取締役
技術部長) 新堀正義

(株式会社ニッポン放送常務取締役技術局長
兼株式会社フジテレビジョン常務取締役) 長谷慎一

スイス国ジュネーブにおいて開催の国際電気通信連合無線通信主
管庁会議日本政府代表を命ずる

(電気通信参事官) 郵政事務官 柏木輝彦

(電波監理局法規課長) 同 石川義憲

(同 周波数課長) 郵政技官 志田林太郎

(裝備局通信課長) 防衛庁書記官 村田孟

裏面白紙

在ジュネーヴ国際機関日本
政府代表部 二等書記官 外務事務官 左 藤 惠

スイス国ジュネーヴにおいて開催の国際電気通信連合無線通信主
管庁会議日本政府代表代理を命ずる

(日本電信電話公社施設局無線課長) 林 新二
(同) 運用局管理課長) 水 谷 七代

(日本放送協会技術局計画部長) 澤 村 吉 克
(同) 技術局計画部調査課長) 伊 藤 岩 夫

(国際電信電話株式会社研究部次長) 新 川 圭 浩
(同) 技術部周波数課長) 飛 山 圭 一

(同) 営業部協約課長) 齋 藤 友 吉
(同) 通信部業務課長) 山 上 次 郎

(同) 技術部調査役) 谷 山 榮 一
(株式会社日本教育テレビ取締役技術局長) 森 本 重 武

スイス国ジュネーヴにおいて開催の国際電気通信連合無線通信主
管庁会議日本政府代表顧問を命ずる

裏面白紙

(電波監理局法規課) 郵政事務官 土井順吉
 (同) 周波数課) 郵政技官 林良治
 (同) 航空海上課) 郵政事務官 滑川龍男
 スイス国ジュネーブにおいて開催の国際電気通信連合無線通信主
 管庁会議日本政府代表団員を命ずる

理 由 書

国際電気通信連合無線通信主管庁会議は通常五年に一回開催される。

今次会議はきたる八月十七日から四箇月間ジュネーヴにおいて開催され本連合加盟国のほか国際連合、専門機関および関係国際機関からのオブザーヴァーの参加が予想される。

主要議題は国際無線通信規則の改正、国際電気通信条約および全権委員会議の指示に基く国際無線通信の諸問題、国際周波数登録委員会の構成員の選挙等である。

裏面白紙

本籍 東京都豊島区千川町一の一八

野のむらよしお
村 義 男
明治三〇、一、六生

大正一六

九 高等試験行政科試験合格
東京中央電信局外信課主事

一三一

依願免本官
中支那振興株式会社参事

昭和二〇

解散
通信事務官 電気通信監察付

二三

總理府事務官 電波監理総局法規經濟部長

二五

願に依り本官を免ずる

二九

日本放送協會國際局囑託

〃 七

裏面白紙

本籍 東京都港区芝白金三光町二七四

新 ^{しん} 堀 ^{ほり} 正 ^{まさ} 義 ^{よし}
明治三五、八、九生

昭和	二	三	東北帝国大学理学部卒
	一〇	三	日本無線電信株式会社入社
	一三	三	国際電気通信株式会社改称
	二二	五	通信省国際電気通信施設部長
	二四	六	電気通信省東北電気通信局長
	二五	七	関東電気通信局長
	二六	一 二	施設局保全部長
	二七	一 一	日本電信電話公社保全局次長
	二八	四	国際電信電話株式会社取締役（技術部長）

裏面白紙

本籍 宮城県仙台市霊屋下一〇

長は 谷せしんいち
明治四一、四、二〇生

- 昭和 六三 東北帝国大学工学部電気工学科卒
- 八一 一通信技師
- 一九八 逓信院技師
- 九 東京通信局工務部長
- 二四六 電波庁施設監督部長
- 二五六 電波監理長官
- 二七八 電波監理局長
- 三〇六 願に依り本官を免ずる
- 三七七 株式会社ニッポン放送技術局長
- 三二五 常務取締役
- 一一 株式会社フジテレビジョン常務取締役

本籍 山口県豊浦郡阿川村三六九六

林 はやし

大正九、一、二〇生 しん 二じ

昭和一九 東京帝国大学第一工学部電気工学科卒

二二七 通信技官 工務局勤務

二七八 日本電信電話公社法施行

一 技師長室調査課勤務

三一五 施設局無線課勤務

三三二 経営調査室調査役

三四二 施設局無線課長

裏面白紙

裏面白紙

本籍 三重県桑名郡野代村南之郷二五〇

みつ 谷 七 代よ
水 谷 七 代よ
明治四〇、一、六生

昭和

七 一 〇	高等試験行政科試験合格
八 一 〇	東京逓信局監督課勤務
二 一 一 〇	横浜電信局長
二 三 一 二	名古屋逓信局電務部長
二 四 六	東海電気逓信局業務次長
二 七 八	日本電信電話公社法施行
一 一	職員局訓練課長
二 九 六	逓用局電信課長
三 二 八	業務局管理課長
三 四 四	逓用局管理課長

本籍 高知県高知市水通町七六

澤 さわ 村 むら 吉 よし 克 かつ
大正六、二、八生

昭和一六

三

東京帝国大学工学部電気工学科卒

四

日本放送協会技術研究所入所

二一

九

技術局建設部調査課勤務

二六

七

施設局送信設備部勤務

二八

七

施設局計画部副部長

三二

六

技術局計画部施設調査課長

三四

六

技術局計画部長

裏面白紙

本籍 新潟県新潟市関屋七七八

伊い
藤とう
岩いわ
夫お
大正一一、一一、一二生

昭和二〇 九 東京帝国大学第二工学部電気工学科卒

二一 二 日本放送協会技術局勤務

二二 四 技術局技術部録音課勤務

二六 七 施設局演奏設備部勤務

三一 九 施設局計画部技術調査係長

三三 一 技術局計画部施設調査課勤務

三四 六 技術局計画部調査課長

裏面白紙

裏面白紙

本籍 東京都中央区銀座四の二の一

新 川 浩
しん かわ ひろし
明治四二、一一、一三生

昭和 八 三

早稲田大学理工学部電気工学科卒業

一三一 二 任海軍技師

依願免本官

二〇一 〇 日本無線株式会社入社

通信技官 電波局電波課長

二六一 二 国際電信電話株式会社研究部調査課長

研究部次長

三二八

裏面白紙

本籍 新潟県柏崎市上田尻四四九三

とび やま けい いち
飛山圭一
明治四一、一一、六生

昭和 六 三

- 一四一 東京帝国大学理学部物理学科卒
- 一九七 日本無線電信株式会社入社
- 二〇七 国際電気通信株式会社技術部受信課勤務
- 二〇七 東印度総局次長
- 二〇七 セレベス支局長
- 二〇七 福岡受信所長
- 二〇六 電気通信省施設局保全部無線課長
- 二七一 日本電信電話公社中央学園搬送無線技術部長
- 二八四 国際電信電話株式会社技術部周波数課長

本籍 静岡県静岡市安西一の五三

さいとうともきち
齋藤友吉
明治四四、一一、二三生

昭和一一、五 逓信官吏練習所第二部行政科卒

通信省東京中央電信局勤務

一五、一 電務局外信課勤務

二四、九 電気逓信省国際通信部国際課勤務

二七、一一 日本電信電話公社国際通信局国際係長

二八、四 国際電信電話株式会社営業部第一課勤務

三三、六 営業部営業第一課長

三四、四 営業部協約課長

裏面白紙

本籍 千葉県市川市市川町五の一七三五

山^{やま}上^{がみ}次^じ郎^{ろう}
明治四〇、四、一五生

- | | | | | | |
|----|---|---|---------------|--------------|----------------------|
| 昭和 | 二 | 五 | 逓信官吏練習所無線通信科卒 | | |
| | 一 | 七 | 六 | 逓信省那覇無線電信局勤務 | |
| | 二 | 二 | 一 | 六 | 羅州丸電信局長 |
| | 二 | 四 | 六 | 一 | 落石無線電信局長 |
| | 二 | 七 | 一 | 一 | 電気通信省根室電気通信管理所長 |
| | 二 | 八 | 一 | 一 | 日本電信電話公社東京国際電報局運用部長 |
| | 三 | 二 | 二 | 二 | 国際電信電話株式会社東京国際電報局副局長 |
| | | | | | 逓信部業務課長 |

本籍 東京都中野区江古田四の一四七五

谷 たに 山 やま 榮 えい 一 いち
大正四、九、二二生

昭和一六 三

日本大学工学部電気工学科卒

四

清州電信電話株式会社入社

二一 二

通信技官 電波局企画課勤務

二四 二

電波庁電波部対流圏課勤務

二七 八

郵政省電波監理局周波数課勤務

二八 四

国際電信電話株式会社技術部周波数課勤務

三四 四

技術部調査役

裏面白紙

裏面白紙

本籍 東京都新宿区若松町五八

もり もと しげ たけ
森 本 重 武
明治四〇、七、一七生

昭和一〇	三	東京帝国大学工学部電気工学科卒業
一四	三	日本無線電信株式会社入社
一九	二	国際電気通信株式会社技術研究所勤務
二〇	二	同研究所真空管課長
二二	二	通信技官 電気試験所第二通信部無線科長
二四	六	電波庁電波部標準課長
二五	七	電波監理総局電波部技術課長
二七	八	郵政省電波監理局放送技術課長
三二	一	依願免本官
三三	八	株式会社日本教育テレビ技術局長 同社取締役